

途上国経済発展と構造の変化

大野幸一編

途上国経済発展と構造の変化

大野幸一編

アジア経済研究所

途上国経済発展と構造の変化

くほゆうじ (筑波大学助教授)
久保雄志

やまがなつふみ (アジア経済研究所)
山形辰史

よこやま ひさし (アジア経済研究所)
横山 久

ふじきましげあき (アジア経済研究所)
藤崎成昭

おおの こういち (アジア経済研究所)
大野幸一

いまおか ひでき (三重大学教授)
今岡日出紀

一執筆順一

途上国経済発展と構造の変化

研究双書397

1990年3月30日発行©

編者 大野幸一

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04397-4 C3033



IDE

研究双書No. 397
大野幸一編『途上国経済発展と構造の変化』

英文表題および目次

Title

Tojōkoku Keizai-Hatten to Kōzō no Henka
(Economic Development and Structural Changes in East and Southeast Asia)

Edited by
Kōichi ŌNO

Contents

- Chapter 1 Economic Development and Labor Absorption
—An Empirical Analysis of Malaysia,
Indonesia and the Philippines—
(Yūji KUBO, Tatsufumi YAMAGATA)
- Chapter 2 The Indices for Interindustry Linkages
—With a Case of Malaysia—
(Hisashi YOKOYAMA)
- Chapter 3 Economic Development and Consumer's Behaviour
—A "Turning Point" Hypothesis—
(Shigeaki FUJISAKI)
- Chapter 4 Export-Led Industrialization and Import Substitution Policies
(Kōichi ŌNO)
- Chapter 5 Structural Adjustments and Macroeconomic Policy
—A Case Study of Indonesia—
(Hideki IMAOKA)

(Kenkyū Sōsho(IDE Research Series) No. 397)
Published by the Institute of Developing Economies, 1990
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

目 次

まえがき

第1章 経済発展と雇用吸収

——マレーシア，インドネシア，フィリピンに関する実証分析——

……………久保 雄志，山形 辰史… 3

はじめに …………… 3

第1節 理論的考察 …………… 4

1. 雇用吸収の基本モデル 2. 労働市場の状況と雇用吸収の
モデル 3. 資本のデータとモデルの修正

第2節 実証分析 …………… 19

1. 推計モデル 2. 推計結果の分析 3. 雇用吸収と規模
の経済性

第3節 結 語 …………… 31

第2章 産業連関度の指標

——マレーシアのケース—— ……………横山 久… 59

はじめに …………… 59

第1節 さまざまな指標 …………… 60

第2節 先行業績 …………… 65

第3節 前方連関度の要因分割 …………… 72

第4節 マレーシアのケース …………… 77

1. チェネリー＝渡辺の連関指標 2. 直接・間接効果を含む

ヨトポラス=ヌージェントによる指標	3. ウェート付き前方
連関度	4. 要因分割

第3章 経済発展と消費者行動

——消費の「転換点」仮説——	藤崎 成昭	91
はじめに——開発30年の回顧——		91
第1節 経済発展と消費の「転換点」		95
1. 「消費圏」としてのアジア	2. 消費面の「転換点」	
第2節 消費水準と消費パターン——エネルギー需要の例——		103
1. エネルギー需要の性格と類型	2. 所得水準とエネルギー消費	
第3節 経済発展と消費者選好		112
1. 所得水準の上昇と選好の変化	2. 経済発展における消費の役割	

第4章 輸入代替工業化と輸出促進政策

——ラーニング効果のモデル——	大野 幸一	117
序：輸出主導工業化のメカニズムと複線的工業発展仮説		117
第1節 モデル		120
1. ラーニング効果	2. 生産	3. 支出
4. 生産補助金		
第2節 市場均衡と最適補助金		125
第3節 輸出促進政策の効果		129
第4節 結論と政策的含意		131

第5章 マクロ調整政策と産業構造

はじめに	今岡 日出紀	135
第1節 インドネシアの構造調整の概観		136

第2節 為替レート切下げの実物効果とマクロ経済政策	
——分析の枠組み——	148
1. 伸縮的貨幣賃金, 非貿易財価格のもとでの為替レート切下げ 効果	
2. 貨幣賃金, 非貿易財価格が下方硬直的であるときの 為替レート切下げ効果	
第3節 インドネシアにおける為替レート切下げの実物効果と金 融効果	160
1. 為替切下げの実物効果	
2. 実物効果とマクロ経済政策	
第4節 貯蓄率と金融・税制改革	175
1. 金融自由化と民間貯蓄率	
2. 付加価値税導入と政府貯蓄	
おわりに	179